

入 試 年度	2026 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026 年 2 月 2 日
課程	博士前期課程	研究科	農学研究科	専攻・コース	農学専攻
入 試 方式	一般入学試験 外国人留学生入学試験		試験科目	基礎科目 生物	
「出題の意図」					
植物の光合成（問題Ⅰ）と生殖（問題Ⅱ）に関する基礎的知識を問う					
「解答」または「解答例」					
【解答】					
問題Ⅰ					
① <u> S または U </u> ② <u> S または U </u> ③ <u> L </u> ④ <u> E </u> ⑤ <u> D </u> ⑥ <u> B </u> ⑦ <u> N </u> ⑧ <u> Q または V </u> ⑨ <u> Q または V </u> ⑩ <u> G </u> ⑪ <u> K </u> ⑫ <u> C </u> ⑬ <u> W </u> ⑭ <u> X </u> ⑮ <u> R または T </u> ⑯ <u> R または T </u> ⑰ <u> M </u> ⑱ <u> Y </u>					
問題Ⅱ					
① <u> P </u> ② <u> M </u> ③ <u> R </u> ④ <u> A </u> ⑤ <u> B </u> ⑥ <u> F </u> ⑦ <u> Q </u> ⑧ <u> J </u> ⑨ <u> G </u> ⑩ <u> E（花粉管） </u> ⑪ <u> D </u> ⑫ <u> H </u> ⑬ <u> E（子房） </u> ⑭ <u> N </u> ⑮ <u> S </u> ⑯ <u> I </u> ⑰ <u> L </u> ⑱ <u> C </u> ⑲ <u> O </u> ⑳ <u> K </u>					
合否判定の方法及び基準					
入学試験は農学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。					
合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。					

入 試 年度	2026 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026 年 2 月 2 日
課程	博士前期課程	研究科	農学研究科	専攻・コース	農学専攻
入 試 方式	一般入学試験 外国人留学生入学試験		試験科目	基礎科目 数学	
「出題の意図」					
農学専攻博士前期課程での研究に必要な数学の学力を有しているかを確認する。専攻での研究に関連が深い、微積分、行列、統計からの出題とする。					
「解答」または「解答例」					
【解答】					
1. $-\frac{256}{5}$					
2. $\begin{pmatrix} -\frac{1}{2} & 1 \\ -3 & \frac{1}{2} \end{pmatrix}$					
3. (1)相関は、2 つの変数の間にどの程度の関係（関係の強さ、正負）があるかを考える。両変数間の因果関係（どちらが原因・結果であるか）は問わない。回帰は、一方の変数から他の変数を予測・説明するものである。 (2)名義尺度は、データを種類・分類で区別するもの。数字であっても、大小関係や順序に本質的な意味はない。比尺度は、絶対的な原点 0 が存在し、数値の大小や差、倍率に意味があるもの。					
4. (1)分散が偏差の 2 乗で定義される理由：偏差をそのまま合計すると、正負が打ち消し合って平均が 0 になり、散らばりの大きさを表すことができなくなる。そこで、2 乗することにより符号をなくし、散らばりの大きさを反映させるため。 (2)標準偏差が多用される理由；分散は単位が元のデータの 2 乗となっている。標準偏差は分散の平方根をとることにより、元のデータと同じ単位となっている、比較・解釈を直感的におこなうことができるため。					
合否判定の方法及び基準					
入学試験は農学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。 合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。					